# 一粒耕心

## 減農薬・減化学肥料で安心して食べられる作物を

能代市朴瀬
**見上　隆太さん**

経営規模
初夏取りきゃべつ……1ha
秋冬きゃべつ……2ha
ねぎ……30a

**越冬、初夏取り、秋冬と大きく3つの時期に分けて栽培出荷している「白神きゃべつ」。現在、出荷のピークを迎えている初夏取りきゃべつは甘く、さくさくとした歯ざわりが特徴です。**

### 板前から専業農家に

能代市朴瀬に住む見上隆太さん。東京で板前として働いていたという経歴をもっています。そんな見上さんが農業に興味を持ったのは、家族で行っていたねぎ栽培の手伝いでした。以来、見上さんはねぎの栽培だけでなく、様々な作物の栽培に惹かれるようになり、一念発起して帰郷、そして就農しました。新規就農支援制度を利用し、2014年に専業農家としてスタートを切りました。

### 栽培へのこだわり

「かわいい娘、そして家族はもちろん、消費者が安心して食べることのできるきゃべつを目指している」と話す見上さん。娘の詩月ちゃんが誕生して、農薬や化学肥料に対する考え方が変わったそうです。そのため、減農薬、減化学肥料での栽培を実践し、殺菌や菌の生長を抑える効果があるとされている、木酢を使った防除対策などを行っています。また、農業関連の参考書をよく読むほか、JAの営農センターによく足を運び、情報収集も欠かさずに行っています。

### 今後に向けて

毎年栽培面積を増やしている見上さん。食の外食や中食化が進み、加工用としての野菜消費量が増加していることに触れ「今後は加工用きゃべつの面積拡大に取り組んでいきたい。効率化・低コスト化を目指し、農業用鉄コンテナを使った収穫も考えている。市場ニーズに合った栽培をしていきます」と力強く話してくれました。

↑詩月ちゃんもお手伝いするそうです